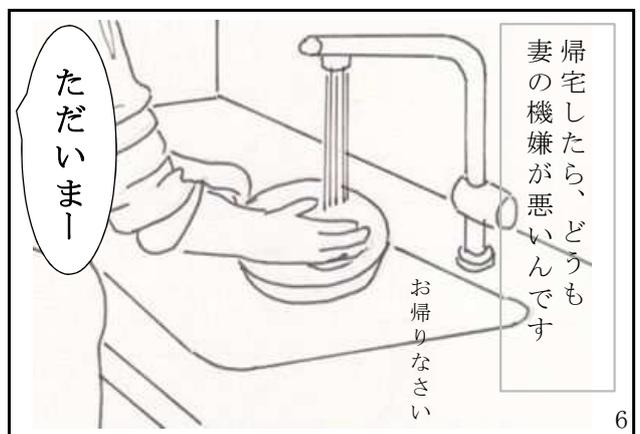
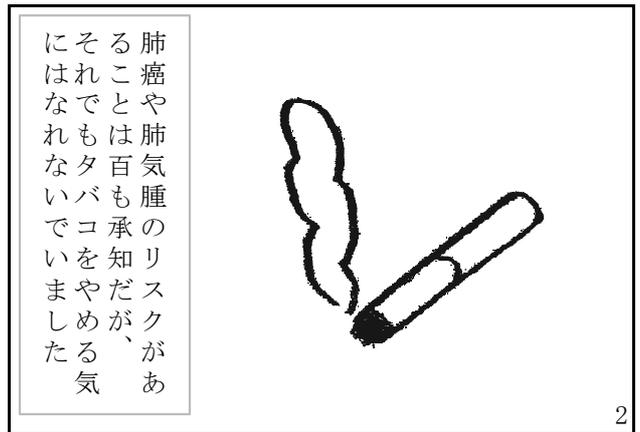
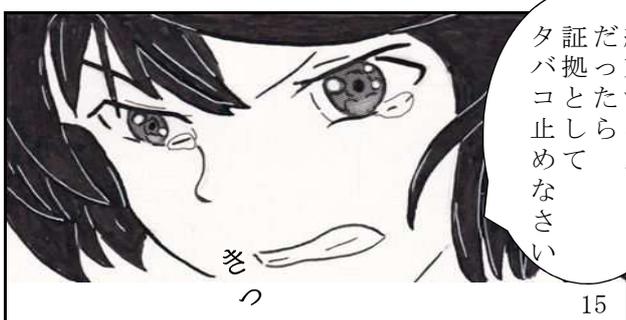


妻に浮気がバレて・・・1



妻に浮気がバレて・・・2



妻に浮気がバレて・・・

編集後記

「浮気している男の行動って、概ね妻には分かる」と知り合いが言ってました。真偽のほどは分かりませんが、このケースのように外乱・アーチファクトから分かることも、よく聞きます。やっぱり大切なのはパートナーです。お忘れなきよう。さて医師相手の学務活動やっていると、待たされることは日常茶飯事です。遅れてきた時って、手術が上手く行かなかったことが多く、機嫌が悪いことが多いです。私と一緒に活動していた営業マン、タバコが吸える場所をよく探していたことを思い出してしまいました。

資料

小原公一：妻に浮気がばれてタバコをやめた男の物語, 日経メディカル, 20180209

ベテランMRのQ造は、いわゆるチェンスマーカーで、毎日のように女房からタバコをやめるように言われていた。しかし、なんだかんだと色々と言いつつしながら、タバコを吸い続ける毎日だった。

日々のMR活動では、タバコの好きな先生としばしばタバコ談義になり、「タバコは認知症を防ぐのだ」などと、タバコの“効用”を語り合うこともあった。もちろん、肺癌や肺気腫のリスクがあることは百も承知だが、それでもタバコをやめる気にはなれないでいた。

ある日、タバコ好きのY先生から、「タバコは葉っぱよりも紙がいけないんだよ。だから紙巻タバコはやめた方がいい。俺は最近、葉巻にこっているんだよね」と聞かされた。

それを聞いてQ造は、東京のあるホテルにある喫煙者専用の喫茶ルームを思い出した。時々、時間つぶしに訪れていたが、その売店では世界中の輸入葉巻やパイプタバコが売られていた。そこにあったイギリス製の葉巻を、ぜひY先生へのお土産に買って行こうと考えたのである。

その喫茶ルームにやって来たQ造は、いつもの通りの窓際の席に着き、コーヒーを飲みながらタバコを吸っていた。すると、目に見慣れた顔が現れた。それは、いつも同じルートで回っているP製薬の女性MR、Mさんだった。

Q造 「あれ、君もタバコを吸うんだ？」

Mさん 「ええ、最近は病院に喫煙所もありませんし、吸う場所がなくて困っているんです。でも、ここなら堂々と吸えるので、たまに来るんです」

Q造 「そうだね。僕も全く同じだよ。そろそろやめなくちゃと思うんだけど、なかなかやめられなくて…」

その出会いがきっかけとなって、2人の距離は日増しに近づいていった。情報交換を口実に、食事をしたりお茶を飲んだりするようになっていったのである。

そんなある日、休日に、彼女と伊豆半島をドライブに出かけた。家には、会社の同僚とゴルフに行くとウソをついていた。以前、ゴルフに行った時にスコアカードを余分にもらってきており、帰り道、そこに会社の同僚の名前を書いてゴルフバックに入れておくなど、アリバイ工作は万全……、のはずだった。

家に帰り着くと、女房の様子が何やらおかしい。でもQ造は、気付かないふりで、やってもいないゴルフの様子を話して聞かせた。「で、そのときにAがさあ…」。すると、すかさず女房が切り返した。「そうよねえ。Aさんと今日、一緒だったはずよねえ。でも今日ね、Aさんから電話があったわよ。何か仕事のことで聞きたいことがあるんだとか。あなたっ！ ゴルフ行っていたなんて、うそでしょう！ 今までどこで何していたのっ！！」

絶叫する女房の声を聞いて、Q造は絶望的なキモチになった。

「私、浮気は絶対に許せませんから。今日のことはともかく、これからは浮気を続けるんなら離婚します。あなた、今後は浮気をしないで私に約束できる？ 約束するんなら、その証拠として、今すぐにタバコをやめなさい」。女房は有無を言わさぬ態度で、Q造にそう宣告した。

数日後、Q造は愛煙家のY先生を訪問した。いつものように、タバコ談義を始めたY先生に、Q造は言った。「実は先生、僕、タバコをやめました」。「よくやめられたなあ。何かあったのかい」とY先生は尋ねた。Q造は、ことの顛末をY先生に話したのであった。

これは筆者が、知り合いの先生から聞いた話である。

多くの病院が敷地内禁煙になったせいか、最近は、医師でタバコを吸う人の数が大幅に減ってきたように思う。しかしMRでは、いまだに愛煙家が多いようである。移動中の車で喫煙し、医療機関に着いたらオーデコロンを振りかけてタバコの匂いを消して、先生の前に現れるMRもいると聞く。

ちなみに、2005年の日本たばこ産業の調査によると、男性の喫煙率は年々低下し、45.8%になっている。でも逆に、女性の喫煙率は年々上昇していて13.8%。20代、30代の女性の喫煙率は、20%を超えている。このような傾向は米国でも同様だと、米国在住の友人が言っていた。

かく言う筆者も、何度も禁煙を試みているが、いまだにタバコがやめられないのである。